

写

事務連絡
平成28年10月8日

中国四国・九州農政局生産部生産技術環境課長 殿

生産局農業環境対策課長

阿蘇中岳第一火口の噴火に伴う農作物被害等に対する技術指導について

阿蘇中岳第一火口については、平成28年10月8日午前1時46分に爆発的噴火が発生し、高さ1万1千メートルに達する噴煙が確認され、周辺地域への降灰が発生しているところである。

このため、火山活動による農作物被害等をできるだけ最小限に止めるため、下記の事項を留意の上で、各地域の状況に応じた迅速かつ適切な対応が行われるよう、貴局管内の県に対し技術指導の徹底を図られたい。

記

1 共通

- (1) 降灰等が農作物に長期間付着すると生育に影響を及ぼすおそれがあるため、払落とし及び散水等によりできるだけ速やかな除去に努める。
- (2) 火山灰のpHや成分の分析を行い、強酸性の場合はアルカリ資材（石灰等）を土壤に施用し中和する（茶園を除く（注））。また、降灰は乾くと固まりやすくなることから、土壤への堆積量が多いところでは除灰を検討する。
（注）茶は酸性土壤を好むこと、アルカリ資材が根に悪影響を与えるおそれがあることから、施用しない。
- (3) 気象庁の発表する噴火警報等に十分留意し、噴石の落下等の危険が予測される場合には農作業を行わないこと。降灰下で農作業を行う場合は防護メガネ、防塵マスク、火山灰が皮膚に触れないよう長そで、長ズボン、タオル等を着用する。呼吸器系の疾病がある場合は特に注意する。
- (4) 農作物に灰が付着したまま収穫等の機械作業を行うと、機械の吸気システムの故障や刈取り刃の損傷等が生じやすくなるので、機械については作業中の点検及び作業前後の整備において灰の除去などに努める。

2 野菜

- (1) 葉茎菜類は被覆資材を降灰前にできるだけ被覆する。収穫期のものは収穫を急ぐ。

- (2) 生育不良や品質低下のおそれがあるため、作物体に積もった火山灰を散水等により速やかに除去する。
- (3) 火山灰の除去終了後は、必要に応じて苦土石灰及び有機物等の施用により土壌改良を行う。

3 果樹

- (1) 生育不良や果実品質の低下が起こるおそれがあるため、樹体に積もった火山灰を払落としや散水により速やかに除去する。
- (2) 火山灰が厚く積もった場合には、土壌の透水性の低下等が起こるため、中耕や土壌改良資材等の施用を行う。

4 花き

- (1) 花き育苗床は、寒冷しゃ、ビニール等被覆材で被覆ができるよう準備し、降灰に備える。
- (2) 火山灰が茎葉に長時間付着すると生育不良をきたすおそれがあることに加え、降雨により、火山灰が固まるため、散水等により速やかに除去する。

5 施設園芸

- (1) ハウスに火山灰が堆積すると光量が低下して生育に影響を及ぼし、また、換気窓の開閉が困難になるなどの可能性があるため、動力噴霧器による高圧の散水等により、降灰の都度火山灰をこまめに除去する。
- (2) 施設内の換気を行う場合は、火山灰の入り込みを考慮して行う。
また、火山灰が換気扇や暖房機等の運転の妨げとならないよう施設周辺機器の点検を励行する。
- (3) 高所での作業の際には転落事故が起きないように十分注意する。

6 茶

一番茶の芽が動き始める頃でもなお火山灰が越冬葉に付着している場合には、降灰除去機やスプリンクラーによる散水等により、除灰に努める。

7 畜産（飼料作物）

火山灰を多く含む飼料の給与は下痢等を起こすことがあるため、降雨や風による除去状況を踏まえて収穫を行うとともに、付着していないものと混合して給与することなどにより飼料中の火山灰の低減に努める。

また、サイレージ調製時に必要に応じて添加剤を使用するなど品質の確保を図るとともに、降灰後の状況に応じて掃除刈りや施肥等を行い、生育の回復に努める。